



令和8年度 学校だより

天王丘



令和8年9月4日(金)

第 12 号

観音寺市立柞田小学校
発行

子どもたちの安心のために～私たち教職員も学び続けます～

2学期が始まりました。観音寺市では今年度から、2学期最初の一週間を午前授業とし、子どもたちがゆっくりと学校生活のリズムを取り戻せるようにしています。校内を回ると、どの教室も落ち着いた雰囲気、しっかりと学びに向かっています。そして、子どもたちが下校した午後は、私たち教職員が学ぶ時間です。今週、柞田小学校では、子どもたちの命と安心を守り、よりよい教育につなげるため、様々な研修を行いました。

▶「もしも」に備える ～アレルギー対応研修～

1日は、食物アレルギーの緊急対応について実地訓練を行いました。卵、乳製品、ナッツなどによる症状を想定し、エピペンや内服薬の有無など、様々な状況を設定。実際に声を出して動き、緊急時の判断や役割分担を確認しました。知っていることを、いざというときに行動へ移せるようにする。大切な命を守るための実践的な研修です。



▶実際に動いて確かめる ～引き渡し訓練～

2日は、保護者の皆様にもご協力いただき、引き渡し訓練を行いました。登校後に警報が発表された場合を想定し、教職員の配置や保護者の動線、引き渡しまでの流れを確認しました。

アレルギー対応研修と引き渡し訓練は、出演教頭先生を中心に計画しています。教職員も毎年メンバーが変わるからこそ、実際に動いて確かめることが大切です。訓練で見た改善点を次に生かし、より確かな備えにつなげていきます。ご協力ありがとうございました。



▶教育の「今」を知り、子どもたちと向き合う

3日は、森谷教頭先生から、国や県の教育をめぐる新しい動きについて学びました。今年12月に施行される「こども性暴力防止法」をはじめ、学校教育を取り巻く状況も変化しています。

大切なのは、制度や方針を知るだけでなく、その意味を理解し、日々の教育につなげること。大きな教育の流れを捉えながら、目の前の子どもたちと向き合っていきます。今後は、次期学習指導要領についても研修する予定です。

▶一人の子を、学校みんなで支える ～KNTプロジェクト～

4日は、生徒指導の研修です。昨年度2学期から、生徒指導主事を中心に「KNTプロジェクト」を進めています。KNTは、「KUNITA(柞田)」の頭文字であるとともに、K=Kodomo(子ども)、N=Next(未来)、T=Together(共に拓く)、「子どもたちの未来を共に拓く」という願いを込めています。



月に一度、学校生活の中で様々な困り感を抱えている子どもたちの姿を全教職員で共有し、「この子に、今、何ができるだろう」と考えます。担任だけで抱えるのではなく、一人一人を「柞田小学校みんなで支える子」として見つめ、よりよい関わりを学校全体で考えていく時間です。

アレルギーへの対応、災害への備え、教育の新しい動き、一人一人への支援。すべてに共通するのは、子どもたちの命と安心、そして成長を大切にすることです。子どもたちが午前中に学ぶように、午後からは先生たちも学ぶ。子どもたちが安心して過ごし、自分らしく成長できる学校であるために、柞田小学校は、子どもたちとともに学び続けます。